

自他のよさを認め合い、道徳的価値に対する 自分の思いや考えを深める児童の育成 —多様な考え方に触れる話し合い活動を通して—

特別研修員 道徳 加藤敏子（小学校教諭）

児童の実態

自分自身のよさが分からない。
友達の悪いところに目が行ってしまい、ささいなことからトラブルになる。

教師の思い

自分のこととして十分に道徳的価値の自覚を深めさせたい。

実践例 主題名：勇気ある行動 A-(1)善悪の判断、自律、自由と責任 資料名：「ドッジボール」（出典：東京書籍）

発問 正しいことを、自信を持って行うことはできますか。

（できる）
自分の気持ちがモヤモヤするから。

（できるときもあれば、できないときもある）
人数が少ないとできるけど……

（できない）
仕返しされそうで、怖い。

「つなげる」補助発問

「Aさんの自分の気持ちがモヤモヤするという考えについてどう思いますか。」

Aさんと同じ考えだけど、理由が少し違って、
相手が反省しないから正しいことは言った方が
いいと思うな。

分かるな
なるほど

「広げる」補助発問

「Bさんは仕返しされそうと言っていたけど、Aさんの自分の気持ちがモヤモヤするという考えについてどう思いますか。」

ぼくは仕返しされそうだから言えないと
思っていたけど、Aさんのような考えもあるな。

「深める」補助発問

「正しいことを自信を持って行うと、誰がどのような気持ちになりますか。」

自分がスッキリした
気持ちになる。

手立て① 児童の思いや考えを見取るための 道徳シートの活用

できる・・・○
できる時もあれば、できない時もある・・・△
できない・・・／
を記号で記入し、そう考えた理由をキーワードのみ記入する。

	①女		②男	
こ	○	ある	△	どちらも
注意	自分の 気持ちが モヤモヤ	言わないと ムシクシク	怒られる から	スッキリ
友	△	どちらも	×	どちらも
	人数少○		仕返し されそう	スッキリ

手立て② 多様な考えに触れるために 「つなげる」「広げる」「深める」補助発問 を取り入れた発問構成の工夫

「つなげる」補助発問

同じ考えでも理由が異なる児童を意図的に指名

↓
友達の考えと自分の考えを比較できる。

「広げる」補助発問

異なる考えの児童を意図的に指名

↓
様々な考えがあることのよさに気付くことができる。

「深める」補助発問

児童の行為を問い返す

↓
もう一度自分の思いや考えを見つめ直すことができる。

自他のよさを認め合い、自分の思いや考えを深める児童

成果

- 道徳シートを活用することで、児童が発問に対してどのような思いや考えを持っているのかを把握することができ、展開後段での話し合いに生かすことができた。
- 話し合い活動では道徳シートを活用し、「つなげる」「広げる」「深める」補助発問をしたことで、話し合いの活性化につながった。自分と同じ考えや異なる考えがあることに気付くことができ、自分の思いや考えを深めることができた。

課題

- 「深める」補助発問では、道徳シートを基に、ねらいとする道徳的価値との結び付きを考えながら、どの児童の考えをより深く考えせたいかを決めておく必要がある。